

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY PURE つるせ校		公表日		2026年 2月 20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・支援室は十分なスペースが確保されており、さまざまな運動遊びを行うことも可能となっている。 ・家具配置や動線を工夫し、限られたスペースでも安全に移動できるよう配慮している。	体調不良に繋がるかもしれない以前の身体を休めるための個室スペースの確保を検討していきたい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	・常に適切な人数配置がされている。 ・行動面で見守りが必要な児童、学習・個別課題が中心の児童など、ニーズに合わせて支援者を割り当て、限られた職員数でも支援が行き届くよう工夫している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・危険が生じやすい場所(窓・扉・角など)にはクッション材やカバー等を設置し、安全面に気を配っている。 ・ロッカー、棚などの転倒防止用バーや蛍光灯カバーを付けるなど、いざという時の防止策をとっている。 ・写真やイラストを用いて視覚支援を行い、一日の流れに見通しが持てるような工夫がされている。	子どもに分かりやすく構造化された環境になっているが、中高生が過ごせるスペース等年齢に応じた環境を確保していきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・毎日の清掃や消毒を徹底し、室内が清潔に保たれるようにしている。また換気や室温管理をこまめに行い、季節に応じて子どもが過ごしやすい環境を整えている。 ・生活空間および送迎用車両ともに年中を通して清掃、消毒作業を意識している。 ・こまめに清掃を行い清潔に保たれている。支援室の玩具や教具は子ども自身が手に取りやすいように工夫されている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・必要に応じて個別の部屋や静かなスペースを使用できる環境が整っている。児童の気持ちの切り替え、クールダウン、個別学習などに応じて場所を選べるようにしている。 ・クールダウンが出来たりや落ち着いた環境で過ごせる部屋があり、個々に応じた支援を工夫している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・定例会議やミーティングで、児童の様子・支援内容・環境改善について職員全員が意見を出し合う機会が設けられている。 ・社員を中心に一人一人が意識して行っている。 ・また皆が共通認識を持てるようにミーティング等で話し合える場を設けている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・毎年実施しており、保護者様の意見を業務改善に繋げている。また改善すべき点がある場合は迅速な対応を心掛けている。 ・回答内容は職員間で共有し、支援内容の改善や活動計画の見直しに活かしている。	意向等を把握し業務改善につなげる良い機会となっているが、毎年回答数が半数程度のため、多くの保護者様の意向をお聞きできるよう周知していきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・毎月の職員ミーティングの他に、個別で意見交換を行い把握するよう心掛けている。改善が必要な場合は迅速に対応している。 ・定例会議や朝礼・終礼の場で、職員が意見を共有しやすい時間を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		現在実施していないため、検討していきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・法人内での研修が定期的実施されており、職員のスキルアップや資質向上に繋がっている。 ・研修、感染症対応など、事業所内での勉強会も定期的実施している。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	法人の理念のもと、支援方針やカリキュラム、活動、あそびを設定し、ねらいや内容、5領域を明確にして作成し公表している。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・定期的に個別面談を行い、子どもの姿や課題を保護者と共有、ニーズを聞き取り、支援計画を作成、現場へと下ろしている。 ・保護者への聞き取りや記録、学校からの情報も活用し、客観的な分析に基づいて支援計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・定例ミーティングで全職員により、計画を元に適切な支援が行えていたか振り返りを行なっている。現場での意見を元に子どもの今の課題を共有し次回の計画作成を行い、支援の方法を方向付けている。 ・定期的に会議を開き、情報共有・共通理解を図り、ニーズに寄り添った支援を検討している。		

	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	職員間でミーティングを通して共有され、計画に沿った支援を行っている。	毎月のミーティングの他適宜話し合いの場を設けているが、非常勤職員と共有する時間が必然的に足りないため、工夫して時間を確保していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・インフォーマルなアセスメントに関して、日々の支援の中で意識的に行っている。 ・関わった結果や案件も支援記録に残し個人で記入することによりスタッフ全員に共有できるよう努めている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	ねらい及び支援内容を踏まえ、必要な項目や支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	・児童発達支援管理責任者を中心に、支援に関わる職員でチームとして検討・立案している。各職員が児童の特性やニーズに応じた意見を出し合い、共有の上で具体的な活動内容を決定しており、計画に沿った支援が実施されている。 ・常勤職員を中心に、今の子どもの姿や課題を組み込んだ活動プログラムを作成している。	常勤職員が中心となり、各職員の意見やアイデアを取り入れながら立案を行っている。チームで取り組むことを意識して行っていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・児童の興味、関心や発達状況に応じて内容が固定化しないよう工夫し、定期的な見直しや新しい要素の導入を行っている。また、継続的な取り組みが必要な活動については、児童の成長や達成度に応じて継続的に実施できるよう配慮している。 ・子どもの興味に合わせ楽しく参加出来るような活動を毎月新たに行うよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・児童の発達状況や興味、関心に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせ作成されている。作成された計画に基づき、個々の児童に合った支援を日々実施し、集団活動における関わりや協調性の育成と、個別課題での習得支援が両立できる体制となっている。 ・毎日違う活動をしていて、個別活動と集団活動がバランス良く出来ている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援開始前には、職員間で必ず打合せを行い、その日の支援内容や役割分担を確認している。これにより、職員がチームとして連携し、計画に沿った支援が統一的に実施されている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・支援終了後には職員間で必ず打合せを行い、その日の支援内容の振り返りを実施している。振り返りの中で得られた気付きを職員間で共有し、翌日の支援や今後の計画改善に活かしている。 ・支援終了後に振り返りを行い、確認事項や子どもの姿を共有することで支援の質の向上に努めている。	毎日支援終了後に打ち合わせを行っているが、非常勤職員の参加が難しいため、記録に残したり翌日に共有等対応している。打ち合わせて話した細かい内容が共有されずに抜けてしまうことが課題なため、共有方法、伝達方法を工夫していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々の支援に関して記録を確実にし、児童の様子や行動の変化を把握できる体制となっている。記録内容を定期的に振り返り、支援の効果検証や改善策の検討に活用されている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的に児童の状況や支援内容をモニタリングし、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している。必要に応じて計画の目標や支援内容を適切に更新し、児童に最適な支援が継続して行われる体制を整えている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	ガイドラインの「4つの基本活動(生活・学習・遊び・運動)」を複数組み合わせ、児童の発達段階や興味・関心に応じて支援を実施している。活動内容は計画に反映され、個別支援目標の達成や集団活動の効果を高める工夫をしている。	日常的にガイドラインを閲覧する機会がないため、閲覧して確認する意識を付けていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	児童が自己選択できるよう、活動内容や課題の順番、使用する教材などを選ぶ仕組みを取り入れている。日々の活動の中で児童の意思決定や自己決定力を育む支援を行っている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	当該児童の状況を十分に理解している職員が参画している。児童のニーズや支援課題を正確に伝え、関係機関と連携した適切な支援方針の検討が行われている。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	関係機関と連携し、児童に必要な支援を総合的に提供できる体制を整えている。情報共有や定期的な連絡を通じて、各機関との協働による適切な支援が実施されている。	

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	7	0	・学校との情報共有や連絡調整を適切に行い、学校との連携を通じて児童の安全確保や支援の一貫性を図っている。 ・送迎時に話をしたり、手紙などのやり取りで把握している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	就学前に利用していた児童発達支援事業所等と情報共有や相互理解に努め、児童の発達状況や支援ニーズを把握した上で、適切な支援が継続できる体制を整えている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	学校卒業に伴い、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する際には、これまでの支援内容や児童の特性等情報を提供し、円滑な移行と継続的な支援が行えるよう努めている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1		地域の児童発達支援センターとのつながりがあるが、研修や助言を受ける機会はないため今後活用していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	児童館主催のイベントに参加したり、児童センターを利用し、地域の他の児童と交流する機会を設けている。社会性の育成や集団活動への適応力向上を図っている。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・日頃から保護者と児童の状況を共有し、発達の状況や課題について意見交換を行うことで、保護者と職員の間で共通理解を持った支援が行われている。 ・送迎時に保護者に児童の様子を伝えて、成長や課題の話をしている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	保護者向けの講演会や勉強会を開催している。		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	丁寧に説明を行い、理解・納得を得た上で利用開始ができるよう配慮している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	児童や保護者の意思を尊重し、児童の最善の利益を優先する観点から、保護者の意向を確認する機会を設けている。家庭と連携した適切な支援方針を計画に反映している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・家族からの子育てに関する相談に随時応じ、必要に応じて面談を実施している。家庭での支援方法について助言を行うなど、継続的な支援体制を整えている。 ・相談に対し助言をしたり必要に応じて面談を行う等の支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	0	保護者会や夏祭りなどの行事を通して、保護者同士が交流できる機会を設けている。また、きょうだい同士での交流の場も工夫して提供し、家族全体の支援につなげている。	保護者会や家族、きょうだいに参加できる行事を行っているが、参加したことがない家庭もいるため、多くの方々に参加いただけるよう日時の設定や内容を検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	現時点では苦情は発生していないが、発生した場合には迅速かつ適切に対応できる体制が整っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	毎月通信を発行し、活動内容や行事予定等の情報をこども・保護者へ定期的に発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	地域住民を招いて行う行事は現在実施していないが、夏祭り等の家族参加型イベントは定期的実施している	地域住民を招待する行事は実施していないため、地域に開かれた事業運営ができるよう今後検討していく。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・事業所内に掲示して職員・家族へ周知している。また、発生を想定した訓練を定期的実施している。 ・きちんと研修を受けて、訓練も行っている。		

非常時等の対応	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	業務継続計画(BCP)を策定し、非常災害の発生に備えて、火災・地震など様々な状況を想定した避難訓練を定期的実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	現在、食物アレルギーの該当児童はいないが、医師の指示書に基づき適切に対応できる体制を整えている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画を策定し、職員向けの安全管理に関する研修や訓練を実施している。必要な措置を講じた上で、十分な安全管理体制のもと支援を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	安全計画に基づく取組内容について、毎月発行しているお便りを通して家族へ周知し、連携を図っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・ヒヤリハットを共有し、再発防止及び事故に繋がらないよう対応している。 ・ヒヤリハットについて記録を行い、ミーティングで共有している。再発防止に向けた方策を検討し、必要な改善を随時実施している。	ヒヤリハットを共有し、再発防止、事故につながらないよう共有している。今後も安全を第一に支援ができるようヒヤリハット段階での共有を大切にしてい
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	きちんと研修を受けられる体制がある。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		